

東の輪海浜公園リニューアル設計業務委託

場所	新潟県柏崎市東の輪町地内（柏崎港鯨波地区海岸）
目的	公園が完成して約30年を経過したため、現在の利用者ニーズや周辺施設の整備状況に合わせて全体施設の利用区分と動線の検討を行い、老朽化施設の更新、導入施設種の再検討、施設の規模とデザインを見直すなどのリニューアルを行い、本公園の利用向上を図ること目的とした。
主な内容	<p>計画に先立って、既往調査（海浜利用者ヒアリング）、公園及び周辺駐車場整備状況と運用実態、施設老朽実態、樹木生育状況、地元（浜茶屋）へのヒアリングなどの調査・分析をして、問題点や課題の抽出・整理を行った。</p> <p>問題・課題としては高木や低木の過繁茂による閉鎖景観等の弊害、旧基準のための段差や狭窄部、サイン不足等による多くのバリアーの存在、公園周辺施設からの動線の隔絶、シャワーや駐車場等の施設の老朽化や数量不足と閉鎖感などが挙げられた。</p> <p>計画では全体の計画コンセプトを『海水浴場百選にふさわしく、また来たくくなるような「海辺の公園」づくりを目指す。』として、以下の設計方針を立てた。</p> <ol style="list-style-type: none">①子供連れ家族の夏季利用に配慮した公園整備を行う。②明るく、清潔感のある開放的なデザインを導入する。③子供にも分かりやすく、使いやすい施設とする。
ポイントや成果	<p>課題は特に以下の項目について重点的に検討を行った。</p> <ol style="list-style-type: none">①海浜公園に相応しい開放的なデザインの創造。②駐車場や園路等施設の安全性と快適性、及び利便性の追求。③子供や車椅子のみならず緊急時にも対応出来るユニバーサルデザインの導入。 <p>公園機能としては繁茂しすぎた樹木を大々的に伐採し、明るく見通しを良くし、安全で快適な駐車場、園路広場などの施設設計を行った。</p> <p>公園のデザイン面では木柵仕切りや在来樹種の導入などの地域性の演出とデザインシャワーポールや園芸花卉等の特徴的なデザインによる刷新性の演出との融合を図った。</p>
問合せ	株式会社 グリーンシグマ 環境設計室

<リニューアル後の様子>

●エントランスの見直し

エントランスは海浜公園に相応しく海を見通せるように広い園路を設け、周辺にはシャワーや特徴的な中心広場を隣接させ公園のシンボル化を図った。



●管理棟周辺の見直し

以前の管理棟回りでは樹木が繁茂し過ぎて海水浴場、及び他の園内施設から遮断され、閉鎖空間となっていたので、視認性と使い勝手の改善のため既存松林を伐開し、以前より広く開放的な広場に改良した。



●駐車場の見直し

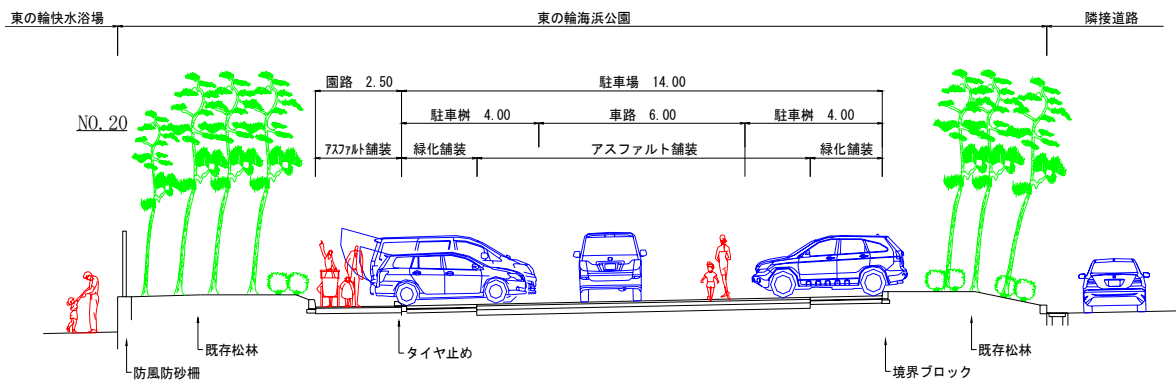
駐車規模は入込予測に基く駐車台数を見直し、既存の松林を伐開して増設した。

駐車木の配置や路面舗装は整形デザインを基調とし、無秩序な駐車の排除等の安全性を確保した。

また、駐車場は季節利用や緊急車両にも対応出来るように、構造や運用について管理者と協議を重ね、入出庫口の位置、場内動線、路面勾配、施設の大きさを工夫し、汎用性の高い施設とした。



駐車場断面図



●園路・駐車桝の見直し

細長い公園内を縦貫する園路は安全で明るく余裕のある歩行と滞留空間を確保するために、「タイヤ止め」の後に、自動車のオーバーハングと供用出来る広い園路を設けた。

また、駐車桝では緑化舗装を行い、輻射熱の低減による夏の快適性の向上と、路面ボーダーと相まって視認性を高めることによる安全性の向上を図った。



●シャワー場の見直し

シャワーは位置、数量、形状、仕様をコンセプトと課題に従い検討、新しくデザインし直した。

空間デザインでは木製の仕切り柵とデザインされた高さの違うシャワーポールの組合せにより地域性を加味した開放感のある、使い勝手の良いシャワー場とした。



●パーゴラ周辺の見直し

パーゴラ周辺の見直しでは柏崎港方面への施設との繋がりを持たせるため、新たな動線デザインによる「誘う仕掛け」を設けた。

